

東日本大震災復興支援プロジェクト

第18回活動報告



デイサービス施設で草むしり。左から2番目が福島県南相馬市から鶴岡で避難生活をされている星見さん。

活動内容はゆるゆるでも、心は熱い。
福島から新しい仲間も加わりました。

通算18回目となる復興支援プロジェクト活動を9月29日、6人の職員が参加して宮城県東松島市で実施しました。

この日は、事前に聞き取りしておいた現地でのニーズに合わせて、同市鳴瀬地区のデイサービス施設周辺の草むしりと、新東名地区の集会所内の家具設置に二手に分かれて取り組みました。

現地では、8月に催された地元夏祭りでのメロン配布（西郷砂丘畑振興会提供）以来、ますますJA鶴岡の知名度が高まっているのを実感します。

良い意味で『ゆるゆるゆるな』活動を展開しているのが地元の方々から受け入れられている様子で「今度は100%遊びでおいで」「一緒にお酒飲もう」「その時は家に泊まってあげてもいいわよ」などありがたい言葉をいただきながら交流を深めています。

なお、鶴岡で避難生活をされている福島県南相馬市出身の星見英朝さんが今月よりJA鶴岡で勤務されており、当プロジェクトにも継続参加されます。



クレームが出ないギリギリの技術で創作家具を手作りしていく参加者。

【参加者】

- 鈴木大亮（総合戦略室）
- 佐藤浩市（経理システム課）
- 星見英朝（経理システム課）
- 小松浩（南支所）
- 長谷川篤夫（大泉支所）
- 木村優友（JA G西郷店）